

令和元年度尾張旭市後期高齢者医療特別会計

歳入歳出決算認定について

討論要旨 川村つよし議員

愛知県後期高齢者医療広域連合が公表している、愛知県後期高齢者医療の事業概要を見るとわかりますが、2019年度の「保険料軽減特例 均等割の軽減割合を9割軽減から8割軽減に見直し、元被扶養者の均等割の軽減特例は廃止」など、毎年、負担増が何かしら続いている状態だ。

我が党は、2019年6月にも財政の提案を行っているが「能力に応じた負担」の原則に立ち税制を改革し、大型公共事業や軍事費などの歳出の浪費をなくすことと併せて当面 17.5 兆円、将来的には 23.5 兆円の財源を確保できると試算している。

市の決算と言うよりも、被保険者の負担が増え続ける、国の制度設計に問題があると指摘し、反対討論とする。